ホッと通信

〒745－0034　周南市御幸通2丁目22
防長本社　Eメール　bocho@chugoku-np.co.jp
中国新聞山口　Eメール　chugoku@c-spice.co.jp
情報サービス　URL　http://www.c-spice.co.jp
☎0834(33)5605　FAX0834(33)5610

教育・文化

にしゃんたのやまぐち日記 ⑧

会話弾めば心にも栄養

立ち食いそば屋さん

僕は、立ち食いそば屋さんが好きで、全国どこに行っても好んで立ち寄ります。そこでは、なんとなく体に良いような気がして、うどんよりそばを注文します。食事が変則なせいもあって、まとめて栄養を取りたいあまり、卵を二つ入れてもらったりします。そうすると、麺が二玉入っていることも多々あります。

JR新山口駅の立ち食いそば屋さんももちろん好きです。店員の磯兼さんか恩村さんがいつも笑顔で迎えてくれます。初めて訪れた日のことは鮮明に覚えています。

夏の暑い日だったので、涼みたい気もありました。そばが出てくるまでの間、僕はクーラーの冷たい風に当たってセルフサービスの水を二杯ばかり飲み干しながら、陽炎が立っている窓の外の景色に目をやりました。別に周りに共感を求めるつもりでなく、自然と「暑いですねー」という言葉が出ました。

僕がよく立ち寄るJR新山口駅の立ち食いそば屋さん

暑さから解放され、束の間の幸せをかみしめていた僕は、隣で沸き起こるクスクスという笑い声でわれに返りました。店員の二人がお腹を抱えて笑っているんです。何がおかしいのか分からないので尋ねると、「どう見ても暑いっていうお顔をしてないじゃない」って、二人は言うのです。気が付いたら僕も、彼女たちと一緒になって笑っていました。

そして「お待ちどうさん」と湯気が立っている鉢が目の前に差し出されました。僕は待ちきれない気持ちを抑えられず、割りばしを二つに裂くなり、本能の赴くままにがっつきました。

店の人への礼儀として味見もしないで最初からカウンターに並べられている調味料を加えることは失礼です。でも、何口かいただいた後なので、僕は七味を振りかけ、残りのそばを平らげにかかりました。

ところが大失敗。七味をかけすぎたのです。思わず「辛い」って口走った次の瞬間、またあの笑い声が返ってきました。「あなたは、辛いって顔をしてないじゃないの、ハハハッ」。僕を含め店にいたお客さんみんながお腹を抱えて笑うまで、そんなに時間がかかりませんでした。

スリランカ生まれの僕は、初めての日本の人に先入観を持たれます。肌の色や言語などでその人への態度ががらりと変わることはいい気持ちがしません。だが、この二人の女性のように初対面でもあっけらかんとした接し方は、かえって好感が持てます。親しくなるきっかけになり、友達づくりもうまくいきます。

あれ以来、僕は新山口駅の立ち食いそば屋さんでは、暑い時は暑い、辛い時は辛いと口に出しています。今では誰も笑ったりしません。それどころか、しばらく顔を見せないと「何かあったの」「寂しかったよー」と心配してくれるほどの仲になりました。

（県立大国際文化学部講師　J・A・T・D・にしゃん）

実のみ赤くのぞかせ雪の
のごと　神辺　佳子
一条の光さしくるテーブルに蝋梅香る朝の静けさ
佐伯ふみ子
積雪の陰に咲きそむ一輪の赤き山茶花に心のまどう
櫛部ミヤコ
「お茶はどう」「あっ、うん」とだけ、過ごし来し四十五年の歳月の果て
田中　邦彦
浜梨の小さき朱実二つ三つ原生花園に秋の日返す
松本あけみ
テーブルにしばし瞑りて思い出の人に逢はむと心化粧す　弘兼　安雄

◆勝間せせらぎ短歌会（周南市）

赤飯の出でてざわめく昼餉どき介護施設の師走朔日（ついたち）
石山　直江
日の浅き師走の朝の窓に見ゆ初冠雪の真白き景色
西田八重子
すすき穂のゆらぐ川辺の草枯れて師走の空に鳥の群れ飛ぶ
森脇　照子
今日よりは師走となりて新聞は助け合い募金のはじまるを告ぐ
後藤　文子
山峡の師走の風に音たてて落葉舞いゆく吾追い越して
藤井　光
師走きて縁に大豆を選りいるに手許冷え来て雪の降りつぐ
熊野　翠

◆ゆづき短歌（周南市）

眼で応ふ仔犬と語れば限
飲ま
ろとする
甲板に風冷
の島じま美
々と見ゆ
三月は善光
げと巡礼の
古里の雰囲
堂の古びし
駅裏
ゆくりなく
気象情報、
雨を伝ふる

◆俳

◆春嶺俳

歳末の旅や
鳴釜の神事
おしまひは
る年忘れ
年詰まる子
足伸べ
煮えばなの
雪舞ふ夜
草の戸のあ
注連飾
文明の世の
る
今もなほ数
が好き
感嘆の溜め
友の来て懐
な
獅子柚子を
る句会かな
霜月の星降